

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト：50％ 小テスト：30％ 授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	直井 徳子		実務経験	○	
実務内容	看護師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習(国家試験過去問題)と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～4章)	筋系、神経系の演習(国家試験過去問題)と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第5章～6章)	神経系、血液・循環器系の演習(国家試験過去問題)と解説
4	人体の構造および機能の復習 (第7章～9章)	呼吸器系、消化器系の演習(国家試験過去問題)と解説
5	皮膚科学(第1章)	皮膚の構造

6	皮膚科学（第 2 章）	皮膚付属機関の構造（毛）
7	皮膚科学（第 2 章～ 3 章）	皮膚付属器官の構造（脂腺、汗腺、爪） および皮膚の循環器系と神経系
8	皮膚科学（第 4 章）	皮膚と付属器官の生理機能
9	総まとめ	テストを実施する
10	皮膚科学（第 5 章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学（第 6 章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 （皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹）
12	皮膚科学（第 6 章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（日光皮膚炎～分泌異常による疾患）
13	皮膚科学（第 6 章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患）
14	解説 皮膚科学（第 6 章）	振り返り・解説 衛生害虫による皮膚疾患～皮膚の腫瘍
15	総まとめ	総まとめを行う
16	皮膚科学の復習（第 1 章～ 2 章）	皮膚の構造と皮膚付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（題 3 章～ 4 章）	皮膚の循環器系と神経系および皮膚と付属器官の生理機能の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第 5 章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第 6 章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り

25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	1	30
使用教材	文化論		出版社	社) 日本理容美容教育センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50％ 小テスト：30％ 授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	春藤 聡子		実務経験	○	
実務内容	ブライダルジュエリーの販売・デザインアドバイザー				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	明治・大正・昭和の髪型・服装について

5	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	現代Ⅰ（1945～1950年代）の髪型・服装・化粧について
6	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅱ（1960～1970年代）の髪型・化粧・服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅲ（1980～1990年代）の髪型・化粧・服装について
8	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅳ（2000年代以降）
9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節	テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説

21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	1	30
使用教材	運営管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。		
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。		
評価基準	テスト：50％ 小テスト：30％ 授業態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	白方 通隆	実務経験	○
実務内容	団体及び個人に対してのセミナー講師 人財育成・企業コンサルティングなど		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節	経営とは何か・継続企業の原則,経営の必要性を理解する
3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第3節 第4節	経営資源と経営計画を理解する
4	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第5節 第6節	経営戦略とは何か/良い店の実現を理解する

5	第2章 理容業・美容業の経営について第1節 第2節	業界の概要について/競争の変化を理解する
6	第2章 理容業・美容業の経営について第3節 第4節	サービスについて/理容業・美容業の顧客についてを理解する
7	第1編 第3章 資金の管理 第1節 第2節	資金管理の重要性和資金の流れを把握/収支と損益を理解する
8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節	収支と損益、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
9	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する
10	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
11	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する P50～P61
12	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現①健康診断
13	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現②理美容業の健康問題
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	回答&解説
16	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ
17	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第2節	社会保険①厚生年金を学ぶ

18	第 2 編 人という資源 従業員としての視点 第 3 章 従業員としての視点から 第 3 節	社会保険②健康保険を学ぶ P 8 0 ～P 8 3
19	第 2 編 人という資源 従業員としての視点 第 3 章 従業員としての視点から 第 3 節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P 8 3 ～P 8 5
20	第 2 編 人という資源 従業員としての視点 第 3 章 従業員としての視点から 第 4 節	社会保険③雇用保険を学ぶ
21	第 2 編 人という資源 従業員としての視点 第 3 章 従業員としての視点から 第 4 節	社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
22	第 2 編 人という資源 従業員としての視点 第 3 章 従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第 3 編 顧客のために 第 1 章 サービス・デザイン	価値の実態 1～3 価値の構造を理解し、システムを学ぶ
24	第 3 編 顧客のために 第 1 章 サービス・デザイン	価値の実態 4～6 価値の役割を理解し、人の役割を学ぶ
25	第 3 編 顧客のために 第 2 章 マーケティング	マーケティング① マーケティングミックス（短期的要因）を学ぶ
26	第 3 編 顧客のために 第 2 章 マーケティング	マーケティング② マーケティングミックス（長期的要因）を学ぶ
27	第 3 編 顧客のために 第 3 章 サービスにおける人の役割	接客の実践①～④ P 1 2 4 ～P 1 3 5
28	第 3 編 顧客のために 第 3 章 サービスにおける人の役割	接客の実践⑤接客におけるトラブル対応
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。		
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。		
評価基準	テスト：50％ 小テスト：30％ 授業態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山田 順子	実務経験	○
実務内容	美容室にて美容師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	≪ 8 章 エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマツサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント

3	≪ 9 章 ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&フィラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマッサージのポイント・手順、フットマッサージのポイント・手順
5	≪ 10 章 メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論 2. 顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩 4. 皮膚の生理と構造 5. メイクアップの道具 6. スキンケア 7. ベースメイクアップ	・メイクアップ概論（サロンワーク・スタジオワーク）・顔のプロポーション、顔の骨格と筋肉、顔の立体研究、メイクアップによる立体感、顔の凹凸に基づいたブロッキング・色の三属性、マルセル表色系による色の分類、 角度配色・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具 ・クレンジング、トーニング、プロテクティング・ファンデーションの目的・選び方、塗り方と順序の一例、多色塗り、ハイライト、ローライト、カバーホワイト ベースメイクのアクセントカラー・パウダリング
6	8. アイメイクアップ 9. アイブローメイクアップ 10. リップメイクアップ 11. ブラッシュオンメイクアップ 12. まつ毛エクステンション	アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニック・眉の整え方、ドローイング、シェーディング ・リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、ブラッシュオンメイクアップ ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例
7	総まとめ	テストを実施する 8 章～10 章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	≪ 11 章 日本髪 ≫ 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
9	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 9. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）

10	≪ 12 章 着付けの理論と技術 ≫ 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
13	まとめ	まとめを実施する 11 章～12 章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	テストの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1 章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2 章・3 章	シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4 章・5 章	ヘアカッティング・パーマメントウェービング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6 章・7 章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題

23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	1	30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社) 日本理容美容教育センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。				
評価基準	テストおよび小テスト： 8 0 % 授業態度： 2 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松田 朋彦		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	イントロダクション 第１章 法制度の概要 第１節 第２節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会における法の役割 日本の法令体系
2	第１章 法制度の概要 第３節 第４節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第２章 衛生行政の概要 第１節 ～ 第３節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第３章 理容師法・美容師法 第１節 第２節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第３章 理容師法・美容師法 第３節	美容師免許取得までの過程

6	第 3 章 理容師法・美容師法 第 3 節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する。
8	解説	振り返り・解説
9	第 3 章 理容師法・美容師法 第 3 節	美容師に求められる義務
10	第 3 章 理容師法・美容師法 第 3 節	免許の変更等があったときの手続き
11	第 3 章 理容師法・美容師法 第 3 節	管理美容師
12	第 3 章 理容師法・美容師法 第 4 節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第 3 章 理容師法・美容師法 第 4 節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する。
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第 3 章 理容師法・美容師法 第 5 節	立入検査と環境衛生監視員
17	第 3 章 理容師法・美容師法 第 6 節	違反者に対する行政処分
18	第 3 章 理容師法・美容師法 第 7 節	違反者に対する罰則
19	第 4 章 関連法規	美容業の運営に関する関連法規
20	第 4 章 関連法規	美容業の衛生・顧客に関する関連法規
21	まとめ	まとめを実施する。
22	解説	振り返り・解説
23	第 1 章 第 2 章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第 3 章の復習	ワークブック等を用いて問題演習

25	第 4 章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する。
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（１）	国家試験過去問演習等
29	総復習（２）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	2	60
使用教材	衛生管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。		
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。		
評価基準	テスト：５０％ 小テスト：３０％ 授業態度：２０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	河合 静香	実務経験	○
実務内容	看護師として消化器内科・血液内科等で勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
2	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
3	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
4	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
5	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方

6	第 4 編 衛生管理技術 3 章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
7	第 4 編 衛生管理技術 3 章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際
8	第 4 編 衛生管理技術 3 章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際
9	第 5 編 衛生管理の実践例 1 章衛生管理要領①	第 1～第 4 衛生的取り扱い等
10	第 5 編 衛生管理の実践例 1 章衛生管理要領②	第 1～第 4 衛生的取り扱い等
11	第 5 編 衛生管理の実践例 1 章衛生管理要領③	第 5～第 6 自主的管理体制
12	第 5 編 衛生管理の実践例 1 章衛生管理要領④	第 5～第 6 自主的管理体制
13	まとめ	まとめを実施する。
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	公衆衛生	まとめを実施する。
17	公衆衛生	まとめを実施する。
18	環境衛生	まとめを実施する。
19	環境衛生	まとめを実施する。
20	感染症	まとめを実施する。
21	感染症	まとめを実施する。
22	感染症	まとめを実施する。
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説

25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	香粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	香粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	2	60
使用教材	香粧品化学			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実際の知識の習得する。				
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	安藤 智美			実務経験	○
実務内容	学習塾にて講師として勤務（小・中・高対象）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 1章 香粧品概論	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明
2	2章 香粧品原料	「香粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料の解説と演習
3	2章 香粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
4	2章 香粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
5	3章 基礎香粧品	「皮膚洗浄用香粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎香粧品」「メイクアップ用香粧品」の解説と演習

6	4 章 メイクアップ用香粧品 5 章 頭皮・毛髪用香粧品	「メイクアップ用化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」 「ポイントメイクアップ化粧品」の解説と演習 「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
7	まとめ	まとめを行う
8	5 章 頭皮・毛髪用香粧品	「スタイリング剤」の解説と演習
9	5 章 頭皮・毛髪用香粧品	「パーマ剤」の解説と演習
10	5 章 頭皮・毛髪用香粧品	「ヘアカラー」の解説と演習
11	6 章 芳香製品と特殊香粧品	「芳香・特殊香粧品」「特殊香粧品」の解説と演習
12	6 章 芳香製品と特殊香粧品	「芳香・特殊香粧品」「特殊香粧品」の解説と演習
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	付録 香粧品化学を理解するための基礎 化学 付録 1～付録 2	「物質の構成」「物質（水）の構成」の解説と演習
17	香粧品化学を理解するための基礎 化学 付録 3～付録 5	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習
18	香粧品化学を理解するための基礎 化学 付録 6～付録 7	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習 化学範囲の復習
19	香粧品化学	「香粧品分野」重点項目の復習と確認
20	香粧品化学	「香粧品分野」重点項目の復習と確認
21	香粧品化学	「香粧品分野」重点項目の復習と確認

22	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
23	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
24	まとめ	まとめを行う
25	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	2	60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する		
評価基準	総まとめ４０％　まとめ３０％　提出物２０％　授業態度１０％		
認定条件	・ 出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・ 成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－Ｃ・美容実習Ⅱ－Ｅ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	奈良 理映	実務経験	○
実務内容	美容室で美容師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）、計測27分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）復習、計測27分～25分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール導入（手順、スライス、ビニング）、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生

4	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目、くり抜き復習、計測 2 0 分 4 段目右リフトカール、5 段目左リフトカール復習、強化、計測各カール 3 分、美容師国家試験衛生 6 段目メイポール導入
5	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目、くり抜き復習、計測 2 0 分 4 段目右リフトカール、5 段目左リフトカール復習、強化、計測各カール 3 分、美容師国家試験衛生 6 段目メイポール導入
6	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目、くり抜き復習、計測 2 0 分～1 7 分 4 段目右リフトカール、5 段目左リフトカール復習、強化、計測各カール 3 分、美容師国家試験衛生 6 段目メイポール復習、強化、7 段目クロッキノールカール導入
7	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目、くり抜き復習、計測 2 0 分～1 7 分 4 段目右リフトカール、5 段目左リフトカール復習、強化、計測各カール 3 分、美容師国家試験衛生 6 段目メイポール、7 段目クロッキノールカール復習、強化、7 段構成全体のバランス
8	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する 1 段目～3 段目、くり抜き、4 段目右リフトカール、5 段目左リフトカール計測 2 6 分 6 段目メイポール、7 段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7 段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	7 段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測 4 段目～7 段目カール 1 2 分 7 段構成計測 3 5 ～3 0 分、美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	7 段構成計測 3 5 ～3 0 分 美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	7 段構成 3 0 ～2 5 分 美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング	7 段構成 3 0 ～2 5 分 美容師国家試験衛生
13	オールウエーブセッティング	7 段構成 2 5 分 美容師国家試験衛生
14	オールウエーブセッティング 総まとめ	7 段構成 2 5 分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	2	60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する		
評価基準	ワインディング：総まとめ 20％ まとめ 15％ 提出物 10％ 授業態度 5％ 国家試験カット：総まとめ 20％ まとめ 15％ 提出物 10％ 授業態度 5％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 5 分の 4 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－D・美容実習Ⅱ－E		
備考	・ 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・ この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の 2 領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	吉田 七海	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業 オリエンテーションワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1 年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング（コーム、9 ブロック）3 分、全頭巻き 30 分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング（コーム、9 ブロック）3 分、全頭巻き 30 分、ブロッキング 3 ブロック導入
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング 3 ブロック 1 分、全頭巻き 30～25 分

5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き30～25分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き30～25分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き25分
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き25分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全頭計測20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り
16	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらいカット手順再確認
17	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）16分（チェックカット込み）20分
18	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）16分（チェックカット込み）20分
19	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）16分（チェックカット込み）20分
20	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
21	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
22	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム

23	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
24	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
25	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
26	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
27	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
28	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
29	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
30	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウエーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人理容師美容師試験 研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する		
評価基準	ワインディング：総まとめ 20 % まとめ 15 % 提出物 10 % 授業態度 5 % オールウエーブ：総まとめ 20 % まとめ 15 % 提出物 10 % 授業態度 5 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 5 分の 4 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－A・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－E		
備考	・ 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・ この科目は「ワインディング」「オールウエーブセッティング」の 2 領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	奈良 理映	実務経験	○
実務内容	美容室で美容師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する

5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング 総まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
16	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
17	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
18	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
19	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
20	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
21	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
22	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
23	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生

24	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
25	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
26	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
27	オールウエーブセッティング 総まとめ	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
28	総合授業	総合的授業を実施する
29	総合授業	総合的授業を実施する
30	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	3	90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カット教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第 1 課題カットtingの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第 2 課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する		
到達目標	国家試験第 1 課題レイヤーカット技術、第 2 課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す		
評価基準	国家試験カット：総まとめ 2 0 %　まとめ 1 5 %　提出物 1 0 %　授業態度 5 % オールウェーブ：総まとめ 2 0 %　まとめ 1 5 %　提出物 1 0 %　授業態度 5 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 5 分の 4 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－E		
備考	・ 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・ この科目は「国家試験カット」「オールウェーブ」の 2 領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	吉田　七海	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する

5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
12	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
16	国家試験第 2 課題	国家試験第 2 課題・美容師国家試験衛生
17	国家試験第 2 課題	国家試験第 2 課題・美容師国家試験衛生
18	国家試験第 2 課題	国家試験第 2 課題・美容師国家試験衛生
19	国家試験第 2 課題	国家試験第 2 課題・美容師国家試験衛生
20	国家試験第 2 課題	国家試験第 2 課題・美容師国家試験衛生
21	国家試験第 2 課題	国家試験第 2 課題・美容師国家試験衛生
22	国家試験第 2 課題 まとめ	国家試験第 2 課題・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
23	国家試験第 2 課題	国家試験第 2 課題・美容師国家試験衛生

24	国家試験第 2 課題	国家試験第 2 課題・美容師国家試験衛生
25	国家試験第 2 課題	国家試験第 2 課題・美容師国家試験衛生
26	国家試験第 2 課題	国家試験第 2 課題・美容師国家試験衛生
27	国家試験第 2 課題 総まとめ	国家試験第 2 課題・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
28	総合授業	総合的授業を実施する
29	総合授業	総合的授業を実施する
30	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する		
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－A・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－D		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	奈良 理映	実務経験	○
実務内容	美容室で美容師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

6	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第 1 課題・第 2 課題 まとめ	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する
8	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第 1 課題・第 2 課題 総まとめ	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも（モスリン（４点））・和装スリッパ（下着）・クリップ（２本セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け３級（６月強制受験 免許強制） ・着付け２級（１２月強制受験 免許任意） を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：４０％ テスト：３０％ 授業態度：３０％				
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	齋藤 元子		実務経験	○	
実務内容	結婚式着付、着付講師、成人・卒業式着付、着付ショー出演				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方 1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方 2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する

4	小紋の着せ方 3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方 4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方 5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け 3 級検定（小紋の着付と蝶結び（20 分））を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学 1	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	座学 2	着物の TPO（プリント③④）について
14	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（お太鼓結び）と総まとめを行う
16	振袖の着せ方 1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方 2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方 3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方 4	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
20	振袖の着せ方 5	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
21	振袖の着せ方 6	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
22	振袖の着せ方 7	振袖の着付を仕上げる（検定対策）

23	振袖の着せ方 8	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付け 2 級検定試験（振袖にふくら雀 3 0 分）を実施する
26	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
27	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
28	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	1	30
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社 ADE CREATES	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。 また、人間力が構築され、社会人として活躍できる人材になっている。				
到達目標	希望の就職先に内定				
評価基準	テスト：10％ 提出物・課題：50％ 授業態度：40％				
認定条件	出席が総時間数 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上のもの				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	奈良 理映		実務経験	○	
実務内容	美容室で美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	夢	2 年生になって、ここからの目標・学校生活、就職について
2	人間力	人間関係の構築・就職活動（GW の課題）
3	人間力	集団行動の大切さ・就職活動の課題
4	夢	企業研究
5	人間力	プレゼンテーション・グループディスカッション
6	人間力	チームワーク（熱い動画）

7	夢	美容業界リサーチ
8	人間力・夢	就職先リサーチ・ディスカッション
9	人間力	チームワークとやりきる力
10	人間力	行事を通してのクラス、学年の団結の振り返りとこの先へ向けて
11	夢	美容業界の知識を深める
12	夢	若手実業家（動画）
13	夢	企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について
14	夢	課題のプレゼンテーション
15	人間力	前期の振り返り（目標達成度の確認）
16	人間力	オリエンテーション（なりたい自分に向けて） レクリエーション
17	人間力	担任の想い
18	夢	一般常識
19	夢	社会人として求められているもの
20	人間力	愛される人材とは
21	人間力	メンタルトレーニング①
22	人間力	メンタルトレーニング②
23	夢	企業研究
24	人間力	感謝の気持ち
25	夢	企業研究

26	夢	CASE スタディ①
27	夢	CASE スタディ②
28	人間力	卒業してからの自分を想像する
29	夢	企業研究の総まとめ
30	夢	2 年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい			
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる		
評価基準	総まとめ 30% まとめ 20% 提出物 20% 授業態度 30%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	・ 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・ この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の 2 領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	澁谷 亮	実務経験	○
実務内容	美容室で美容師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーマネントウェーブ理論	理論を理解した上で、デザイン巻 平巻き・縦巻き
2	パーマネントウェーブ理論	実際にコールド液を使用 巻き方、ロッド、ピンパーマの仕上がりの違い等
3	パーマネントウェーブ理論 小テスト	実際にコールド液を使用 巻き方（平巻き・縦巻き）、ロッド、ピンパーマの仕上がりの違い等 スパイラル・ツイスト・ストレートパーマ 巻き方小テストを実施する
4	コンテスト技術／ カットting	コンテストデザインに合わせカットting、応用カットting技術
5	コンテスト技術／ カットting	コンテストデザインに合わせカットting、応用カットting技術

6	コンテスト技術／ カッティング	コンテストデザインに合わせカッティング、応用カッティング技術
7	コンテスト技術／ カラーリング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
8	コンテスト技術／ カラーリング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
9	コンテスト技術／ カラーリング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
10	総合授業	作品制作
11	総合授業	作品制作
12	総合授業	作品制作
13	総合授業	作品制作
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	前期振り返り
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
23	ブレ検定	スキンケア 10 分・フルメイク 35 分行う テスト扱いとする
24	プロポーショナル	プロポーショナルについて導入、実践

25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト） スマホアプリ(VOGUERUNWAY 等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等)			出版社	ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	【特殊・アーティスト・モデルメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【特殊・アーティスト・モデルメイク】 トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる 【ベーシックメイク】 メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・【特殊・アーティスト・モデルメイク】(テスト 30%、提出物 10% 授業意欲 10%) ・【ベーシックメイク】(テスト 30%、提出物 10% 授業意欲 10%)				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ - B				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク) + (特殊・アーティスト・モデルメイク)				
担当教員	佐野 美樹・富田 佳代			実務経験	○
実務内容	佐野 美樹：美容部員、ハリウッドメイックスクール、メイク事務所設立 富田 佳代：ヘアメイク事務所にて勤務。ブライダルヘアメイク、スチール撮影、ドレスショー、ムービー撮影等ヘアメイク全般				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践

2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	年代別のメイク①	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
4	年代別のメイク②	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
5	年代別のメイク③	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
6	年代別のメイク④	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
7	年代別のメイク⑤	テスト、振り返り
8	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う
9	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
10	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(実践) テーマに合わせて行う
11	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(テスト) テーマに合わせて行う
12	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
13	作品制作①	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
14	作品制作②	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
15	総合授業	まとめを行う
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)

21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
23	ブレ検定	スキンケア 10 分・フルメイク 35 分行う テスト扱いとする
24	プロポーショナル	プロポーショナルについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科		3 90
使用教材	【ブライダルエステ】教科書・クリエース化粧品セット・タオル類・消耗品類 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキストベースック（デジタルテキスト）		出版社	【ブライダルエステ】日本エステティック協会、日本理容美容教育センター 【ベーシックメイク】ユアサポート	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	【ブライダルエステ】身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ブライダルエステ】ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 【ベーシックメイク】メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・【ブライダルエステ】(実技試験 40%(フェイシャル 20%・ボディ 20%)授業態度・提出物 10%) ・【ベーシックメイク】(テスト 30%、提出物 10% 授業意欲 10%)				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン				
関連科目	美容実践Ⅰ - C				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク) + (ブライダルエステ)				
担当教員	南 理恵・高橋 綾香		実務経験	○	
実務内容	南 理恵：エステティックサロン勤務後、美容機器メーカー勤務 高橋 綾香：ヘアメイク事務所にて勤務。スチール撮影、ムービー撮影、ブライダルヘアメイク、ショーメイク等				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1 コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1 コマ：1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 1 コマ：授業準備・ルールについて、ベッドセッティング
2	接客マナー（相モデル）	1 コマ：ベッドセッティング 1 コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1 コマ：基本動作・ベッド誘導

3	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験 成績評価①	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導 × 2 クール～4 クール人数に応じて ※相モデル
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1 コマ：1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1 コマ：事前準備・基本動作・ベッド誘導 1 コマ：基本手技・HOT タオルの流れシュミレーション
9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内－デコルテ1～7(美容技術)－HOT タオルふき取り(技術編Ⅰプリント)
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内－フェイシャル1～11(美容技術)－HOT タオルふき取り(技術編Ⅰプリント)
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り－整肌
12	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内－フェイシャルクレンジング(技術編Ⅰプリント)－マッサージ－ふき取り－整肌－誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内－フェイシャルクレンジング－マッサージ－ふき取り－整肌－誘導
14	マッサージ総合・マスク	1 コマ：デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内－消毒－クレンジング－マッサージ－マスク－ふき取り－整肌－誘導
15	総合授業	総まとめを行う
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)

21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
23	ブレ検定	スキンケア 10 分・フルメイク 35 分行う テスト扱いとする
24	プロポーショナル	プロポーショナルについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、J N A ジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する		
到達目標	基礎技術に加えて J N E C 2 級取得レベルに技術と共に J N A ジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、 サロンワークに対応できる技術を身に付ける		
評価基準	検定結果 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級／J N A ジェルネイル検定初級		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	佐藤 千波	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン経営		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1 年次復習	2 年生になって、ここからの目標・学校生活、就職について
2	導入・教材チェック 一年次復習	人間関係の構築・就職活動（GW の課題）
3	1 年次復習	集団行動の大切さ・就職活動の課題
4	一年次復習	企業研究
5	1 年次復習	プレゼンテーション・グループディスカッション

6	1 年次復習	チームワーク（熱い動画）
7	ジェルグラデーション 実技	美容業界リサーチ
8	2 級検定説明 チップラップ	就職先リサーチ・ディスカッション
9	ジェルグラデーション 実技	チームワークとやりきる力
10	チップラップ 実技	行事を通してのクラス、学年の団結の振り返りとこの先へ向けて
11	ジェルフレンチ 実技	美容業界の知識を深める
12	2 級後半 実技	若手実業家（動画）
13	ジェルフレンチ 実技	企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について
14	2 級 通し	課題のプレゼンテーション
15	ジェルスカルプ 実技	前期の振り返り（目標達成度の確認）
16	2 級 通し	オリエンテーション（なりたい自分に向けて） レクリエーション
17	ジェルスカルプ 実技	担任の想い
18	実技試験	一般常識
19	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	社会人として求められているもの
20	実技試験	愛される人材とは
21	ジェル検定中級 第二課題	メンタルトレーニング①
22	筆記試験 トリートメント 実技	メンタルトレーニング②
23	ジェル検定中級 第二課題	企業研究
24	エンボスアート 実技	感謝の気持ち

25	実技試験	企業研究
26	3D アート 実技	CASE スタディ①
27	実技試験	CASE スタディ②
28	ミックスメディア アート	卒業してからの自分を想像する
29	総合授業	企業研究の総まとめ
30	総合授業	2 年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ネイル検定対策】 JNA テクニカルシステム ベーシック、ネイル用具一式 【ベーシックメイク】 メイク道具一式、メイクアップテキストベースック（デジタルテキスト）		出版社	【ネイル検定対策】 NPO 法人日本ネイリスト協会 【ベーシックメイク】 ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ネイル検定対策】基礎的なマニキュア技術を実践でき、JNEC3級検定取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	【ネイル検定対策】ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得 【ベーシックメイク】メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。		
評価基準	・【ネイル検定対策】(検定結果 15%・授業態度他 5%・筆記テスト 15%・実技テスト 15%) ・メイク(テスト 30%、提出物 10% 授業意欲 10%)		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	JNEC ネイリスト技能検定 3 級（任意）・JNA ジェルネイル検定初級（任意） 2 年 4 月 2 年 7～12 月 メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)		
関連科目	美容実践Ⅰ－E		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・（ベーシックメイク）＋（ネイル検定対策）		
担当教員	佐藤 千波・富田 佳代	実務経験	○
実務内容	佐藤 千波：ネイルサロン経営 富田 佳代：ヘアメイク事務所にて勤務。ブライダルヘアメイク、スチール撮影、ドレスショー、ムービー撮影等ヘアメイク全般		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プレパレーションデモ リペア（シルクラップ）デモ・実技	ラップ素材を使用して 爪の修正を学ぶ
2	2 級検定説明(2 級検定 DVD) 2 級検定実技	2 級検定について説明し 受験希望者を確認
3	チップオン・チップラップデモ 相モデル	チップによる付け爪の習得

4	チップオン・チップラップ相モデル	同上
5	チップオン・チップラップ相モデル	同上
6	トリートメントデモ 相モデル・ケア・トリートメント	サロンワークに必要なトリートメント
7	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
8	エンボスアート	同上
9	ミックスメディアアート	3Dアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
10	ミックスメディアアート	同上
11	チップラップ実技	テスト前に技術の再確認
12	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験 J NEC2 級検定受験内容に準じる
13	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験 J NEC2 級検定受験内容に準じる
14	筆記試験 実技練習	筆記試験 J NEC2 級検定受験内容に準じる 実技試験の振り返り
15	総合授業	総まとめを行う
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)

22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
23	プレ検定	スキンケア 10 分・フルメイク 35 分行う テスト扱いとする
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワーク A		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワーク A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	4	120
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	カット・パーマ・カラーの基本技術・理論を理解し、習得させる。		
到達目標	実践の授業で応用が出来るように、サロンワークの授業を通して基礎理論・技術を習得する。		
評価基準	総まとめ 30% まとめ 20% 提出物 20% 授業態度 30%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	美容実習Ⅱ－A・B・C・D・E・F 美容実践Ⅱ－A		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	千葉 大史	実務経験	○
実務内容	美容室で美容師として勤務し、店長を務める		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明
2	カットについて理解する	シザーの扱い方・姿勢・ブロッキング・基礎理論・ベーシックな技法の理解をする。
3	ワンレングスカット①	ワンレングススタイルの基本中の基本であるプラントカットを理解し、習得する。
4	ワンレングスカット②	ワンレングススタイルの完成
5	グラデーションカット①	グラデーションの意味を理解し、カット技法を習得する。
6	グラデーションカット②	グラデーションスタイルの完成

7	レイヤーカット①	レイヤーカットの知識を身に付け、カット技法を習得する。
8	レイヤーカット②	レイヤースタイルの完成
9	セიმレングスカット①	オンベースを理解・意識し、セიმレングスタイルを作り上げる。
10	セიმレングスカット②	セიმレングスタイル（メンズカット）の完成
11	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
12	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
13	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
14	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
15	総まとめ	総まとめ（学んだ知識・技術を活かし、1スタイルの完成）
16	パーマ①	パーマスタイル&巻き方の種類を知り、習得する。
17	パーマ②	ダウンスタイルの作成
18	パーマ③	フォワード・リバーズスタイルの作成
19	パーマ④	ツイストスタイルの作成
20	パーマ⑤	上記バリエーションを活かし、スタイル作成
21	カラー①	カラーの種類・デザインを知り、習得する。
22	カラー②	永久染毛剤（アルカリカラー）を使用し、手順や染まり方を理解する。
23	カラー③	半永久染毛料（酸性カラー・マニキュア等）を使用し、作品を完成させる。
24	カラー④	一時染毛料（カラーチョーク・スプレー）を使用し、作品を完成させる。
25	カラー⑤	上記を使用し、スタイルを完成させる。

26	カット＆パーマ①	上記で習得したカット＆パーマを織り交ぜたスタイルの作成。
27	カット＆パーマ②	上記で習得したカット＆パーマを織り交ぜたスタイルの作成。
28	カット＆カラー①	上記で習得したカット＆カラーを織り交ぜたスタイルの作成。
29	カット＆カラー②	上記で習得したカット＆カラーを織り交ぜたスタイルの作成。
30	総まとめ	総まとめ（学んだ知識・技術を活かし、1スタイルの完成）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワーク B		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワーク B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	4	120
使用教材	ABE textbook Eyelash extensions 教科書 まつ毛エクステンション教材一式			出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	ABE まつ毛エクステンション検定合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を得得する				
到達目標	ABE まつ毛エクステンション検定合格レベルの技術と筆記理論を得得する				
評価基準	テスト 3 0 % 小テスト 2 0 % 提出物 2 0 % 授業態度 3 0 %				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	ABE まつ毛エクステンション検定 / メイクアップ検定ベーシック、メイクアップ検定アドヴァンス検定				
関連科目	美容技術理論Ⅱ メイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	奈良 理映・富田 佳代			実務経験	○
実務内容	奈良 理映：美容室で美容師として勤務 富田 佳代：ヘアメイク事務所にて勤務。ブライダルヘアメイク、スチール撮影、ドレスショー、ムービー撮影等ヘアメイク全般				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 ABE まつ毛エクステンション検定衛生（技術における衛生上の取り扱い）
2	筆記・・・第 1 章 実技・・・ツイザー	筆記・・・まつ毛エクステンション概論 実技・・・ツイザーの正しい持ち方と J カール装着
3	筆記・・・第 2 章 実技・・・ツイザー	筆記・・・まつ毛エクステンションの用具（1 備品） 実技・・・ツイザーの正しい使い方と J カール装着
4	筆記・・・第 2 章 実技・・・まつ毛書き分け	筆記・・・まつ毛エクステンションの用具（2 道具） 実技・・・まつ毛の書き分け方と J カール装着

5	筆記・・・第 2 章 実技・・・まつ毛書き分け	筆記・・・まつ毛エクステンションの用具（3 用剤） 実技・・・まつ毛の書き分けと装着タイムトライアル
6	筆記・・・第 2 章 実技・・・テーブルセッティング	筆記・・・まつ毛エクステンションの用具（4 材料） 実技・・・テーブルセッティング
7	筆記・・・第 3 章 実技・・・J カール	筆記・・・衛生管理 実技・・・J カールの装着タイムトライアル
8	筆記・・・第 4 章 実技・・・J カール	筆記・・・保健（眼に関する知識） 実技・・・J カールの装着タイムトライアル
9	筆記・・・第 4 章 実技・・・テーピング	筆記・・・保健（皮膚に関する知識） 実技・・・テーピングデモ & 実習と J カールの装着 小テストを実施する
10	筆記・・・第 4 章 実技・・・テーピング	筆記・・・保健（まつ毛に関する知識） 実技・・・テーピングデモ & 実習と J カールの装着
11	筆記・・・第 5 章 実技・・・リムービング	筆記・・・カウンセリング 実技・・・テーピングから装着までリムービングデモ & 実習
12	筆記・・・第 6 章 実技・・・トライアル	筆記・・・第 6 章まつ毛エクステンション技術 1 実技・・・トライアル
13	筆記・・・第 6 章 実技・・・トライアル	筆記・・・第 6 章まつ毛エクステンション技術 2 実技・・・トライアル
14	実技・・・トライアル	実技・・・トライアル
15	総まとめ	総まとめ
16	サロンワーク技術練習	オリエンテーション（なりたい自分に向けて） レクレーション
17	サロンワーク技術練習	担任の想い
18	サロンワーク技術練習	一般常識
19	サロンワーク技術練習	社会人として求められているもの
20	サロンワーク技術練習	愛される人材とは
21	サロンワーク技術練習	メンタルトレーニング①
22	サロンワーク技術練習	メンタルトレーニング②

23	サロンワーク技術練習	企業研究
24	サロンワーク技術練習	感謝の気持ち
25	サロンワーク技術練習	企業研究
26	サロンワーク技術練習	CASE スタディ①
27	サロンワーク技術練習	CASE スタディ②
28	サロンワーク技術練習	卒業してからの自分を想像する
29	振り返り	企業研究の総まとめ
30	総合授業	2 年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワーク C		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワーク C		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	4	120
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界で働く上の知識と技術を身に着ける				
到達目標	・ブライダル業界で働く上の知識と技術を身に着ける ・ブライダルの現場においてお客様の需要に合わせた提案のできる知識をつける				
評価基準	授業態度 40% テスト 30% 提出物 20% 準備/片付け/掃除 10%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジ/メイク/着付け				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	富田 佳代			実務経験	○
実務内容	ヘアメイク事務所にて勤務。ブライダルヘアメイク、スチール撮影、ドレスショー、ムービー撮影等ヘアメイク全般				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ブライダル業界とは①	自己紹介この授業の目的・説明 ブライダル業界の傾向
2	ブライダル業界とは②	ブライダル業界の傾向/会場の違い
3	プランニング①	ブライダル演出について
4	プランニング②	ブライダルの流れ
5	プランニング③	カウンセリング※言葉遣い&気配り
6	プランニング④	カウンセリング※言葉遣い&気配り

7	ドレス/ヘアメイク知識①	ドレスの種類/ブーケの種類/ジュエリー
8	ドレス/ヘアメイク知識②	ブライダルヘアメイクの特徴
9	ドレス/ヘアメイク知識③	和装の知識について
10	服装マナー	親族やゲストの方の服装やマナーについて（結納/顔合わせなど）
11	リゾートウエディング	海外や道外のリゾートウエディングについて
12	作品撮り	作品撮り
13	作品撮り	作品撮り
14	メンズの衣装知識	メンズメイク/ヘアアレンジ
15	テスト	前期の復習
16	ブライダルヘアメイク復習	1 年次や前期の復習をし、ヘアメイク実技/ブライダルヘアメイク
17	ブライダルヘアメイク復習	1 年次や前期の復習をし、ヘアメイク実技/ブライダルヘアメイク
18	ブライダルヘアメイク復習	1 年次や前期の復習をし、ヘアメイク実技/ブライダルヘアメイク
19	ブライダルヘアメイク復習	1 年次や前期の復習をし、ヘアメイク実技/ブライダルヘアメイク
20	和装	白無垢、色打掛の着付けをデモンストレーション/ヘアメイクは学生
21	和装	白無垢、色打掛の着付けをデモンストレーション/ヘアメイクは学生
22	復習/実践①	当日の流れを想定したヘアメイク【クイックチェンジ】
23	復習/実践②	当日の流れを想定したヘアメイク【クイックチェンジ】
24	復習/実践③	当日の流れを想定したヘアメイク【クイックチェンジ】
25	復習/実践④	当日の流れを想定したヘアメイク【クイックチェンジ】

26	復習/実践⑤	当日の流れを想定したヘアメイク【クイックチェンジ】
27	作品考案	今までの授業内の知識と技術を活かして作品を制作
28	卒業制作①	撮影
29	卒業制作②	撮影
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サロンワーク D		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワーク D		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	4	120
使用教材	A B E text book Assisutant director			出版社	日本理容美容教育センター
科目の基礎情報②					
授業のねらい	まつ毛エクステンションの取り扱いや正しい知識技能による装着				
到達目標	まつ毛エクステンション技術者認定試験合格を目指す				
評価基準	実技テスト 30% 筆記テスト 30% 提出物 20% 授業態度 20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容実習				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	奈良 理映			実務経験	○
実務内容	美容室で美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	概論	概論と心構え
2	用具 ワゴンセッティング	道具確認・ラベル表示・用具理論
3	用具・グルーの取り扱い・ツイザー 持ち方	ツイザーの持ち方・かき分け・J カール
4	衛生管理	衛生について（手指消毒・ワゴンセッティン）
5	ウィッグ装着	J カール（必要に応じてシート練習も入れる）
6	保健と装着	眼について J カール練習

7	実技総まとめ	Jカール装着テスト Cカールシート練習
8	保健	皮膚について
9	保健	まつ毛に関する知識・毛周期 Cカール装着練習
10	まつ毛エクステンション技術 総まとめ	理論総まとめ（技術理論） テーピング練習
11	BショーWEEK	BGM・映像・ヘアメイク練習
12	BショーWEEK	BGM・映像・ヘアメイク練習
13	BショーWEEK	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
14	BショーWEEK	ショー通しリハーサル
15	まつ毛エクステンション技術	テーピング・リムービング練習
16	装着復習・カウンセリング	Jカール
17	総まとめ	理論総まとめ（技術理論） テーピング練習
18	カウンセリング・タイムトライアル	タイムトライアル導入
19	タイムトライアル	タイムトライアル
20	装着復習	テープ・リムービング
21	装着復習	Jカール（装着・かき分け）
22	装着復習	Jカール（装着・かき分け）
23	検定対策	タイムトライアル
24	検定対策	タイムトライアル
25	検定対策	タイムトライアル

26	検定対策	タイムトライアル
27	検定対策	タイムトライアル・事前準備
28	総まとめ	タイムトライアル・卒業制作落とし込み
29	卒業制作	ウィッグ作成
30	卒業制作	ウィッグ作成

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワーク E		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワーク E		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	美容科	4	120
使用教材	教科書・クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類		出版社	日本エステティック協会 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。		
到達目標	ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。		
評価基準	実技試験 80%(フェイシャル 40%・ボディ 40%)授業態度・提出物 20%/5 段階評価		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	南 理恵	実務経験	○
実務内容	エステティックサロン勤務後、美容機器メーカー勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1 コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1 コマ：1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 1 コマ：授業準備・ルールについて ベッドセッティング
2	接客マナー（相モデル）	1 コマ：ベッドセッティング 1 コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1 コマ：基本動作・ベッド誘導
3	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習

5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験 成績評価①	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導 × 2 クール～4 クール人数に応じて ※相モデル
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1 コマ：1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1 コマ：事前準備・基本動作・ベッド誘導 1 コマ：基本手技・HOT タオルの流れシュミレーション
9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内－デコルテ 1～7 (美容技術)－HOT タオルふき取り(技術編 I プリント)
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内－フェイシャル 1～11(美容技術)－HOT タオルふき取り(技術編 I プリント)
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り－整肌
12	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内－フェイシャルクレンジング(技術編 I プリント)－マッサージ－ふき取り－整肌－誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内－フェイシャルクレンジング－マッサージ－ふき取り－整肌－誘導
14	マッサージ総合・マスク	1 コマ：デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内－消毒－クレンジング－マッサージ－マスク－ふき取り－整肌－誘導
15	総合授業	総まとめ授業を行う